

3月30日（第4日目）

午前

前日の試合の反省をもとにトレーニングを行った。この日は午後からINFとのトレーニングマッチも組まれているため、高い意識のなかでのトレーニングを期待した。前日までに比べ選手の緊張も溶け、いい雰囲気の中で行うことが出来たのではないかなと思う。

また、この日は現フランス代表のGKコーチが特別にトレーニングを行ってくれることになった。

フィールドは1人1個ボールを持ちドリブルシュート・リフティングからシュート・ヘディング・2人組で浮き球パスを頭でコントロールし振り向いてシュートと、基礎技術の反復をトレーニングした。これは前日までのトレーニングでも感じたことだが、当たり前と思っているプレーを確実にやる事の大切さを特に意識するトレーニングがほとんどだと感じた。ここからGKは別トレーニング。GKはグリッドの中でのパス交換・パス交換を投げに行く・キャッチング・コーンをスラロームしてからのシュートストップをトレーニングした。やはりGKにおいては、基礎技術の徹底と両手が使えるようになることのコーディネーションを特に強調しておこなっていた。これはGKだけでなく、フィールドの選手にも言えることではないかなと思う。これらのことを意識して、スタッフもトレーニングを行っていきたいと感じた。



現フランス代表 GK コーチのティセリー氏



クロード・デュソー氏のトレーニング

午後

午後一番に、1998年フランスW杯でフランス代表を優勝に導いたエメジャケ元監督を始め、当時のスタッフ4名と記念撮影をさせていただき、サインをいただいた。その後INF92年生まれとのトレーニングマッチを行った。結果は2・3年生ともに惨敗に終わった。先日の対ルマン戦でも感じたボールを安易に失わないということ、すごくレベルの高いところでやられた感じだった。パススピード・サポートの人数・パス&ムーブの徹底・3人目の動きと、サッカーの基本的なことを本当に忠実におこなっていた。また、玉際の厳しさや、失った瞬間にDFになり必ず取り返すという気持ちがすごくしっかりしていた。選手にとっては本当に考えさせられるゲームになったのではないかなと思う。われわれスタッフとしても今後につながるゲームとなった。個人技術の高い選手ほどシンプル且つ正確なプレーを行い、良い状態で前を向けたらゴールへ積極的に向かう姿勢は圧巻だった。ボールを持っていない選手の予測と、運動量の豊富さは、是非東京ウエストの選手にも身につけて欲しいものだ。



INF 正面玄関にて 1998 年フランス W 杯優勝元フランス代表スタッフと集合写真



1998 年フランス W 杯優勝元フランス代表監督エメジャケ氏



INF の選手達との集合写真

3月31日（第5日目）

午前

前日のゲームの反省と、今回の遠征における最後のトレーニングを行った。5人組のパス&ムーブ・4対2のパス廻し・ダブルボックスでの1対1・2対1・2対2・3対3+GKと、やはりボールを簡単に失わないためにどのようにするかを主題にしたトレーニングがおこなわれた。3人目の動き・ファーストタッチ・パススピード・パスの質・パス&ムーブ・玉際の厳しさ、これを常に意識してのトレーニングだった。本当に基本技術を徹底して行った内容だったのではないかと思う。トレーニングの雰囲気づくりも最後になって選手自身が行えるようになってきた。この短い期間で意識の高い選手は本当に変わったのではないかと思う。



デュソー氏とのトレーニング

午後

昼食後、クレールフォンテーヌを出発する前にフランス代表専用グラウンド・代表選手の宿泊する施設内（ロッカールーム等）・フランス代表選手の10番専用ルーム（現在はジダン選手）を見学させてもらった。最後に大変貴重な体験をさせていただき、選手一同感動していた。その後、バスで1時間30分程の移動をしてベルサイユ宮殿に向った。ここまではサッカーとしての世界レベルを勉強し、ここからはフランスの歴史・文化にふれていくこととなった。その最初がベルサイユ宮殿であり、本当に圧巻の景色・広大な敷地等スケールの違いに全選手が驚いていた。この日からはパリ市内のホテルに宿泊した。一般のお客さんもあるなかでの宿泊となり、これもいい経験となったと思う。夕食は洋食に少し飽きが出ているだろうと、茂木氏のご配慮によりラーメン屋「金太郎」で取らせていただいた。スイスのバーゼルに所属する中田浩二選手達の御用達の店だった。ラーメン、チャーハンと餃子というメニューで選手達は満面の笑みの食事となった。



フランス代表専用宿舎のジダンの部屋



フランス代表専用のロッカールーム



フランス代表専用ピッチ



ヴェルサイユ宮殿中庭